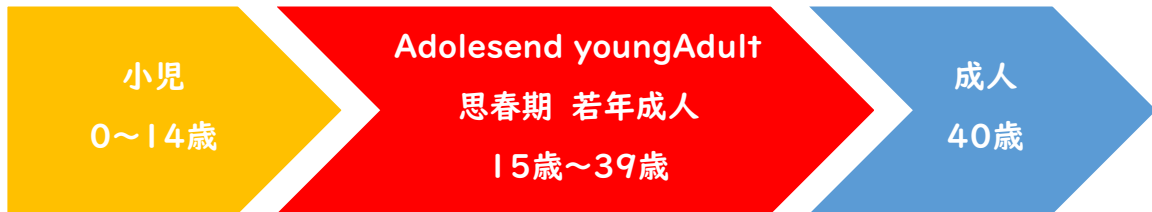


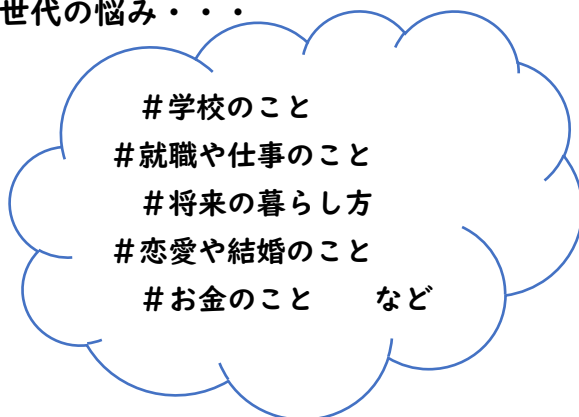
AYA世代の支援について

AYA世代とは、Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）の頭文字をとったもので、主に、思春期（15歳～）から30歳代までの世代を指しています。



AYA世代は、多くの人にとって親から自立したり、生活の中心が家庭や学校から社会での活動に移行したりしていくなど、大きな転換期を迎える時期でもあります。このような時期にがんと診断されると、心身にさまざまな影響を受けることがあります。また、成人のがんに比べて情報が少なく見つけることが難しいなど、不安を抱く人も少なくありません。治療のことだけでなく、人生における重要なライフイベントに合わせ、患者さん一人ひとりへの支援が必要です。

AYA世代の悩み・・・



AYA世代の共通の悩みは「今後の自分の将来のこと」。病気を経験しなくても、将来のことの不安がいっぱいです。病気を経験したらもっと不安になることは当然のことです。相談をご希望される場合は、**がん相談支援センター**をご利用ください。ご家族からの相談もお受けいたします。相談の内容によっては、必要に応じて適切な医療機関等への連携を行います。